

開催日時：2023年11月11日（土）13:00～16:00
開催方法：会場とオンライン（Zoom）のハイブリッド開催
開催会場：ステーションコンファレンス東京 605会議室

【トピックス】

●失語症者向け意思疎通支援者指導者養成事業

修了者は165名で、現時点での累計修了者数は960名

多くの指導者が誕生しており、失語症者を支援できる社会の実現に少しずつ近づいています！

●第5回チーム医療推進学会の開催

日時：2024年2月25日（日）10:00～16:30

主催：チーム医療推進協議会

大会長：一般社団法人 日本言語聴覚士協会 会長 深浦順一

テーマ：患者の意思を尊重したチーム医療の推進と両立支援

会場：オンラインによるライブ配信およびオンデマンド配信（予定）

参加登録：2024年2月19日（月）にて締切

参加費：2,000円

リンク先：<https://www.team-med.jp/news/2023-10-27/>

大会長は深浦先生です。ST分野からチーム医療も盛り上げていきましょう！ぜひご参加ください。

●パネル・ポスター等の活用

協会ホームページからダウンロードが可能

《サイズは2種類(A4/B1)》

- 1) 言語聴覚士とは？①
- 2) 言語聴覚士とは？②
- 3) 活躍する言語聴覚士
- 4) 言語聴覚士になるには？

言語聴覚士を広報するためのパネル・ポスターがあることはご存じですか？STを知ってもらう、STのなり手を増やすためにも各施設の掲示板などで広報お願いします。

トップページ → 申請書類・資料ダウンロード
→ <7. 協会刊行物関連> パネル・ポスターダウンロード

●タスク・シフト/シェアに関するアンケート調査結果

[集計結果 \(japanslht.or.jp\)](http://japanslht.or.jp) (協会HP掲載済)

●2023年度JDDネット第19回年次大会開催の案内

テーマ：社会モデルを生きる

～障害の社会的モデルと自己理解からのセルフアドボカシーの重要性について考える～

大会長：磯野 敦 (JDDnet 理事 日本言語聴覚士協会理事)

日時：2023年12月3日（日）13:00～17:30

会場：zoom ウェビナーによるオンライン開催

参加費：一般3,500円 会員3,000円 (※協会会員は会員価格で参加できます。)

[2023年度JDDnet第19回年次大会\(オンライン\)](#) |

●障害福祉リーフレットPDF版 協会ホームページ掲載の案内

障害福祉リーフレット：協会ホームページよりダウンロード可能

[leaflet_syogaifukushi.pdf \(japanslht.or.jp\)](http://leaflet_syogaifukushi.pdf)

●生涯学習プログラム改訂の件

今後の生涯学習プログラムの概要につきましては下記参照

<https://members.japanslht.or.jp/member/notifications/view/2169>

また改訂パブリックコメントも受け付けております。

受付期間：2023年11月1日（水）～12月20日（水）

※ご意見はST協会マイページ内メッセージより、
件名を「改訂版生涯学習プログラムに関する
パブリックコメント」としてお送りください。

専門言語聴覚士取得
の条件が明らかに！
社会におけるSTの地
位確立のため、生涯
学習プログラムの履
修を進めましょう。

●2024年度認定言語聴覚士講習会

形態：第1回（2日）、第2回（2日）；オンライン（Zoom ミーティング）

第3回（2日）対面

*対面開催回が必ずある。上記を原則として、領域に応じて若干の変更あり。

開催領域6全て

- 1) 失語・高次脳機能障害領域
- 2) 摂食嚥下障害領域
- 3) 言語発達障害領域
- 4) 聴覚障害領域
- 5) 成人発声発語障害領域
- 6) 吃音・小児構音障害領域

6領域全て！！
オンラインと対面の併
用です。
昔より受講しやすくな
りました！

●2024年度全国研修会 予定

6.9 (日)	医療職のキャリアマップの作り方 -言語聴覚士のキャリア形成に向けて	保田江美先生 (国立保健医療科学院)
	吃音に対する効果的な介入プログラム	原由紀先生 (北里大学)
7.21 (日)	回復期における言語聴覚療法 -臨床推論の実際	森田秋子先生(鶴飼病院)
	臨床実習指導者の育成について	内山千鶴子先生 (目白大学)
9.8 (日)	言語聴覚療法に使える統計の初歩	対馬栄輝先生 (弘前大学大学院)
	日本語の文法障害のみかた -成人と小児から	藤田郁代先生 (国際医療福祉大学大学院)
10.6 (日)	失語症の人の長期経過 -社会参加、対話交流について-	中川良尚先生 (江戸川病院)
	精神疾患への理解と対応	村井俊哉先生 (京都大学)
11.10 (日)	半側空間無視のリハビリテーション	水野勝広先生 (東海大学)
	耳鼻咽喉科外来における「ことばの問題」-小 児の言語聴覚障害への対応 早期診断から療育へ -	阪本浩一先生 (大阪公立大学大学院)
12.15 (日)	認知機能障害をもつ患者のディサースリア、摂 食嚥下障害への対応	福永真哉先生 (川崎医療福祉大学)
	保健医療政策と言語聴覚士	深浦順一先生 (国際医療福祉大学大学院)

●臨床実習指導者講習会

規則改定に伴い、**臨床実習指導者要件が変更**となる。
令和8年度以降（予定）、臨床実習を担当するためには、言語聴覚療法業務5年以上の経験と臨床実習講習会を修了が必須。
令和6年度以降に臨床実習指導者講習会を実施予定である。開催方法はオンライン予定。詳細は追って連絡あり。

指導者が教育のあり方を理論に基づき学ぶ時代です。後輩指導にも必要な観点です。全員受講しましょう！

●令和6年度トリプル改定に向けた活動報告

全て3団体で協働して要望書を提出。主な要望内容は以下の通り。

<診療報酬>

リハ専門職の処遇改善を要望

脳血管疾患リハビリテーション料Iの施設基準見直し

算定する施設に言語聴覚士の配置について明記していただきたい。

摂食・嚥下機能回復体制加算

「専任の言語聴覚士」への変更を要望する。

呼吸ケアチーム加算に言語聴覚士、作業療法士の職名明記を要望

精神療養病棟に入棟する患者に対して、摂食機能療法の算定を可能とすること。

<介護報酬>

1番にリハ専門職の処遇改善を要望

訪問リハにおけるPOSの配置

要支援者に対する通所及び訪問リハビリテーションの適時適切な提供

要支援者に対する訪問リハが12ヶ月を超えても医師の判断により延長可能とするもの

訪問看護ステーションからPOSが訪問して行う訪問介護の適切な評価

1日に2回を超える場合の減算の見直し

<障害福祉サービス>

1番にリハ専門職の処遇改善を要望

就労支援に関わる言語聴覚士の支援に対する評価

児童発達支援、放課後等デイにおける専門的アセスメントの評価について

自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活支援）、宿泊型自立訓練における人員配置基準の見直し

聴覚障害児を含む子どもの多様な特性に合わせた専門的な支援を行う児童発達支援センターの評価

就労継続支援A型、B型サービスおよび就労移行支援における言語聴覚士の関わりに対する評価

●士会協会間の連携体制構築について

- ① 連携体制構築は、アンケートから45士会が賛意を示している。
- ② 連携体制構築の検討段階は終了とし、今後は推進段階に入る。
- ③ 今後、連携体制構築推進チームを設置し、各士会の担当者により構成される連携体制構築担当者会議を随時開催し、具体的手順や内容等の合意形成を進めていく。

今後は協会および県士会のいずれにも加入することが条件となります。

●日本言語聴覚学会

第25回日本言語聴覚学会（兵庫・神戸）

テーマ：シン・言語聴覚士 ～過去から未来を繋ぎ、共に生きる～

会期：2024年6月21日（金）、22日（土）

会場：神戸国際会議場

開催形式：ハイブリッド開催予定

演題募集：～12月25日（月）正午

演題申し込みが始まりました！